

在シドニー総領事通信

第 37 回 東日本大震災の被災地に心を寄せる日豪交流

令和 3 年（2021 年）3 月 26 日

東日本大震災が発生した 2011 年 3 月 11 日、あなたはどこにいましたか。あの時から、早くも 10 年が経ちました。

本年 3 月 11 日、シドニーでは東日本大震災復興支援 10 周年イベントが開催されました。約 300 名が参加し、私も冒頭で挨拶させていただきました。被災者を追悼するとともに、10 年にわたる復興支援と交流の歩みを振り返りました。

同日、シドニーから車で約 3 時間のバサースト市では、姉妹都市である福島県大熊町の被災と復興の 10 年に際して植樹式が行われました。植樹式には田中首席領事が出席し、翌週に私も同市を訪問して謝意をお伝えしました。

今回の一連の行事を通じて、豪州にいる多くの人たちが被災地に心を寄せ、震災発生当初に支援を行ったのみならず、今日に至るまで交流を続けてきたことを心強く感じました。今回の総領事通信では、一連の行事についてご報告しながら、長年の交流が生み出した成果を皆様と一緒に考えたいと思います。



講演後に被災地代表からトロフィーを受け取るマクニール豪州搜索救助隊長
(2021 年 3 月 11 日、レインボープロジェクト提供)

●東日本大震災復興支援 10 周年イベント

シドニーでの 10 周年イベントは、シドニー日本クラブ (JCS) レインボープロジェクトが、10 年間にわたる活動を締めくくる行事として企画・実施しました。

シドニーさくら合唱団による君が代斉唱、私の開会挨拶の後、日本時間午後 2 時 46 分に、オンラインで宮城県の南三陸町と東松島市、岩手県の釜石市の慰霊祭と繋がり、一緒に黙祷しました。そして、マクニール豪州搜索救助隊長（現 NSW 州消防局長官補）による講演と、同隊長へのトロフィーの贈呈が行われました。会場の人数制限のため、その他の豪州搜索救難隊員はオンラインで参加しました。

私からは、震災時の豪州からの各種支援に対する謝意とともに、レインボープロジェクトの 10 年間にわたる被災地支援・交流事業を支えた方々に対する謝意をお伝えしました。そして、被災地の復興は大きく進展しており、コロナ後には是非東北を旅行してほしい、また災害対策の経験を世界に共有するために豪州とも協力していきたいと呼びかけました。



イベント会場でのキャンドルライト
(2021 年 3 月 11 日、レインボープロジェクト提供)

引き続き、当地から被災地への思いと豪州への謝意を伝え、東北をはじめ日本の様々な文化を紹介するための公演が行われました。

豪州への謝意を伝える内容の書道のパフォーマンス、震災支援のテーマソング「花は咲く」他の合唱とそれに合わせてのキャンドルライト、琴や和太鼓の演奏、岩手県の伝統芸能である鬼剣舞の披露に加え、東北各県の美しさやレインボープロジェクトの歴史を伝えるオリジナル映画の上映など盛り沢山でした。

インターバルのお弁当は東北の食材を使った当地日本食レストランによる特製弁当です。ブースでは東北の物産を販売して収益がチャリティに充てられていました。また、当地の約 30 の日本企業も支援・協力を行うなど、当地の関係者が一丸となって東北を支援したいとのメッセージが伝わる行事でした。この行事の様子は、日本のテレビニュースでも大きく報じられました。



福島県南相馬市の高校生によるサムライフス@シドニー
(2016年8月9日、レインボープロジェクト提供)

●10年間にわたる被災地の子どもたちとの交流

今回のイベントに参加して強く感じたことは、レインボープロジェクトによる10年にわたる被災地の子どもたちとの交流の重みです。レインボープロジェクトは、これまで東北地方から70名以上の子どもたちをシドニーに招き、交流を続けてきました。

震災当初から2017年までは、被災児にホームステイや豪州独自の伝統行事・スポーツを体験させて異文化への理解を深めるとともに、豪州に東北の現状を伝えてきました。2018年からは「グローバル若者育成プログラム」を開始し、参加者自らが決めた被災地復興課題について、シドニーと日本での実施を後押ししてきました。更に、2016年には福島県南相馬市の高校生をシドニーに招き、サムライフスをマーティンプレイスなど各所で開催しました。

今回、事業に参加した子どもたちのメッセージやアンケート結果が報告され、シドニーに訪問した経験が、それぞれの子どもたちにとって、その後の大きな自信と発展につながったことが良くわかりました。



植樹式を行うパーク・バサースト市長と田中首席領事
(2021 年 3 月 11 日)

●バサースト市での東日本大震災 10 年植樹式

バサースト市は、福島県双葉郡大熊町と 1991 年 3 月 25 日に姉妹都市提携を調印し、長年にわたり中高校生を相互派遣しています。大熊町には福島第一原子力発電所があり、東日本大震災で大きな被害を受けたことから、震災 10 年と姉妹都市提携 30 年に際して、3 月 11 日に大熊町の更なる復興を祈念して、バサースト市内の大熊庭園で植樹式を行いました。

私がシドニーでの行事に出席していたことから、植樹式には田中首席領事が出席して、パーク市長とともにサルスベリを植樹しました。大雨にもかかわらず市の主要関係者が揃って参列し、バサースト市が大熊市に寄せる温かい気持ちを感じました。



パーク・バサースト市長、リーキー筆子先生と大熊庭園の植樹式の場所で
(2021 年 3 月 24 日)

翌週の 3 月 24 日には、私自身バサースト市に赴き、パーク市長、ハンガー前市長、モース元市長、シャーリー総務部長をはじめ皆様に挨拶させていただきました。震災後も相互訪問を継続し、2018 年の訪日時には防護服を着て大熊町の被災地域を視察したと伺って感銘を受けました。また、植樹式当日に行けなかった大熊庭園や、市内にある有名な自動車レース博物館・サーキットや昨年開館した鉄道博物館を、パーク市長とリーキー筆子先生に案内いただきました。

リーキー筆子先生は 1975 年からバサースト市内のオールセインツカレッジで 35 年間日本語教師を務め、1991 年の大熊町との姉妹都市締結当初から長年交流を支援して 2013 年に叙勲されたのみならず、その後もバサースト市や姉妹都市交流の歴史を英語と日本語の双方で記録にとどめてきました。昨年コロナが発生するまで毎年約 20 名の中高校生が相互訪問してきたとのことです。現地で直接お話を伺い、貢献の大きさを実感しました。

3 月 25 日には姉妹都市 30 周年に際して協定を更新するオンライン行事が開催され、私もシドニーから参加して挨拶させていただきました。バサースト市と大熊町が今後とも姉妹都市を一層発展させることを願っています。



エリオット NSW 州警察担当大臣、マクニール隊長、
平野レインボープロジェクト代表他と総領事公邸にて
(2021 年 3 月 18 日)

●東日本大震災の支援・交流事業に対する謝意の伝達

3 月 11 日の行事の翌週、エリオット NSW 州警察担当大臣とマクニール隊長、レインボープロジェクトの平野代表と映画を制作したロバト氏、司会のギブソン氏他を総領事公邸に夕食会に招き、日本政府を代表して謝意を伝達するとともにお話を伺いました。

エリオット大臣は 2013 年の訪日時に被災地を視察し、2019 年のラグビーワールドカップの際も訪日観戦するなど、日本について良くご存知でした。また、マクニール隊長は放射能対処の専門性があり、支援時には放射能対策は万全と感じたものの、厳寒の地での救援は困難を極めたとのこと。そして、豪州が日本や他国の隊員とともに、厳しい状況下で全力を尽くすこと自体に大きな意義があると感じたと伺いました。



東日本大震災復興支援 10 周年イベントを担ったスタッフの皆様
(2021 年 3 月 11 日、レインボープロジェクト提供)

●寄り添うことの大切さ

今回、一連の行事への出席を通して強く感じたことは、つらい時に寄り添うこと、そしてともに歩いていくことの大切さです。

東日本大震災は、東北のみならず全ての日本人にとって試練の時でした。それに対して、豪州人や豪州在住の日本人が、震災当初から心を寄せて支援を行ったのみならず、10 年にもわたり被災地との交流を継続し、復興への道のりを共に歩んできたことは、日豪両国の信頼関係を一層深めるものでした。

困ったときの友こそ真の友。日豪両国がそのような友であり続けるよう、震災支援とその後の交流の関係者に感謝しつつ、私自身も努力していきたいと思えます。

シドニー日本クラブ（JCS）レインボープロジェクト・震災支援 10 周年イベント
<https://jcsrainbow.com/>
<https://www.facebook.com/JCSRainbow>

紀谷在シドニー総領事の冒頭挨拶（2021 年 3 月 11 日）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_speeches/2021_10thGEJECommemorationRainbowProject.pdf

マクニール豪州捜索救助隊長のインタビュー（2011 年 5 月 11 日）
<https://wedge.ismedia.jp/articles/-/1329>

バサースト市と福島県大熊町の姉妹都市交流（当館ウェブサイト）
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/sister_city.html#fukushima

リーキー筆子先生の旭日単光章受賞の報道（2013 年）
<https://www.jams.tv/uncategorized/51930>

（以上）